

令和5年度 主要施策 (当初予算計上分等)

いつまでも住み続けたいまち守口
～暮らしやすさが、ちようどええ♪～



令和5年2月
守口市

[令和5年度 主要施策]

さらなる子育て支援と教育環境の整備

- 1 産前産後支援強化事業 (7,544千円)
- 2 医療的ケア児受入支援事業（拡充） (15,855千円)
- 3 保育体制強化事業（拡充） (12,420千円)
- 4 小規模保育事業・病児保育事業整備助成事業 (31,218千円)
- 5 学校規模適正化事業 (218,929千円)

賑わいと潤いのまちづくり

- 6 にぎわい交流施設整備事業 (58,365千円)
- 7 守口市駅北側エリアリノベーション推進事業 (6,963千円)
- 8 世木公園及び西三荘ゆとり道再整備事業 (562,500千円)
- 9 日吉公園再整備事業 (150,900千円)
- 10 庭窪コミュニティセンター整備事業 (256,520千円)

令和4年度補正予算計上分

- ① 小中学校屋内運動場空調設置事業 (916,881千円)
- ② 旧さくら小学校跡地公園整備事業 (376,341千円)

妊娠期から出産・子育てまで寄り添う相談支援の充実

～産前産後支援強化事業～

●事業目的

妊娠・出産や子育てに関する悩みに寄り添った伴走型の相談支援を実施する体制を強化し、産後うつが悪化や慢性化などを予防するとともに、家庭や地域での妊産婦等の孤立感を解消し、精神的に安定した状態で乳児と向き合い、安心して子育てができる環境の充実を図る。

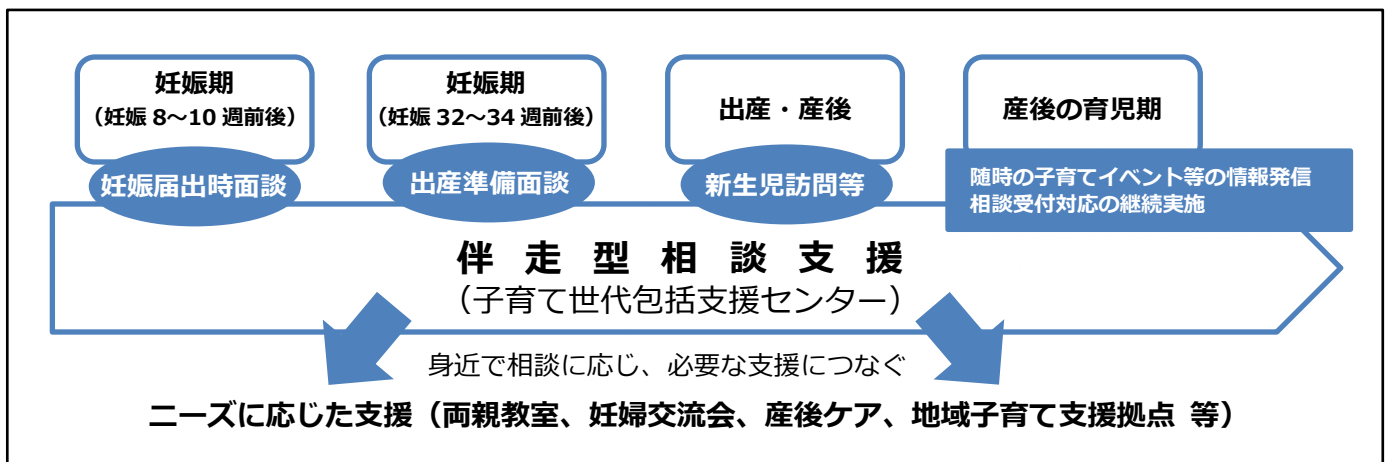
●事業概要

現在、子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠届出時にすべての妊婦に対し、専門職による面談を実施しているが、妊娠初期には不安や悩みが少なかった妊婦も、妊娠中の心身の状態や環境は揺らぎやすいため、精神的に不安定な状態になる危険性がある。

このため、妊娠 8 か月頃にすべての妊婦に対しアンケートを実施し、面談希望者や支援が必要な妊婦には、訪問や来所などで出産準備面談を行い、出産や育児についての不安に寄り添い、必要な支援につなげる。また、産前の悩みを相談できる妊婦交流会を実施する。

●令和5年度当初予算（案） 7,544 千円

【内訳】	会計年度任用職員人件費	7,420 千円
	報償費（助産師）	120 千円
	虐待予防研修資料代	4 千円



認定こども園等の医療的ケア児受入れ態勢の更なる拡充

～医療的ケア児受入支援事業（拡充）～

●事業目的

「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に基づき、本市では、令和4年度から医療的ケア児を受け入れるために看護師等の配置を行う医療的ケア児受入支援事業を実施しており、令和5年度からは1号認定の医療的ケア児も新たに対象に加え、受け入れ態勢の更なる拡充を図る。

●事業概要

1号認定の医療的ケア児が利用する認定こども園等において、医療的ケアに従事する看護師等を配置するとともに、看護師等を補助し、医療的ケア児の保育を担う保育士等を配置する。なお、私立施設については、看護師及び保育士等の配置に要する費用の補助を実施する。

●令和5年度当初予算（案） 15,855 千円

【内訳】

- | | |
|------------------------|---------|
| ・市立認定こども園への看護師配置等に係る費用 | 8,395千円 |
| ・私立認定こども園等の看護師配置等に係る補助 | 7,460千円 |



民間認定こども園等の保育の体制の強化を支援

～保育体制強化事業（拡充）～

●事業目的

児童の園生活での安全管理を図るため、地域住民や子育て経験者などの地域の多様な人材（以下「保育支援者」という。）を保育に係る周辺業務に活用し、保育体制を強化するとともに、保育士の負担を軽減することによって、保育士が働きやすい職場環境を整備する。

●事業概要

- ・児童の園外活動時の見守り等を行う保育支援者の配置費用に対する補助について、新たに幼稚園型認定こども園及び小規模保育事業所等を対象に加える。（月額 4.5 万円）
- ・登園時の繁忙な時間帯やプール活動時などのスポット的配置に要する費用について、新たに補助対象に加える。（月額 4.5 万円）

●令和5年度当初予算（案） 12,420 千円

【予算内訳】

- ・園外活動時の見守り等を行う保育支援者を配置
4,320 千円
- ・登園時の繁忙な時間帯やプール活動時など一部の時間帯にスポット的に支援者を配置
8,100 千円

【補助対象施設】

	幼保連携型 認定こども園	保育所	幼稚園型 認定こども園	小規模保育 事業所等
保育支援者の配置	○	○		
児童の園外活動の見守り等	○	○	◎	◎
スポット支援員の配置	◎	◎	◎	◎

○：従前からの補助対象 ◎：拡充となる補助対象

保育環境の充実に向け、施設整備を支援

～小規模保育事業・病児保育事業整備助成事業～

●事業目的

小規模保育事業を実施している事業所の移転整備に併せ、中部エリアにおいて初となる病児保育事業を新たに実施することで、保護者の利便性の向上及び安心して子育てができる環境の充実を図る。

●事業概要

小規模保育事業を実施する事業所の移転及び小学校就学児童までを対象とした新たな病児保育事業の実施に伴う整備事業に対し、費用の一部を補助する。

●令和5年度当初予算（案） 31,218 千円

【内訳】

- | | |
|--------------|-----------|
| ・小規模保育事業整備助成 | 26,618 千円 |
| ・病児保育事業整備助成 | 4,600 千円 |



八雲中学校区の義務教育学校設置へ向けて

～学校規模等適正化事業～

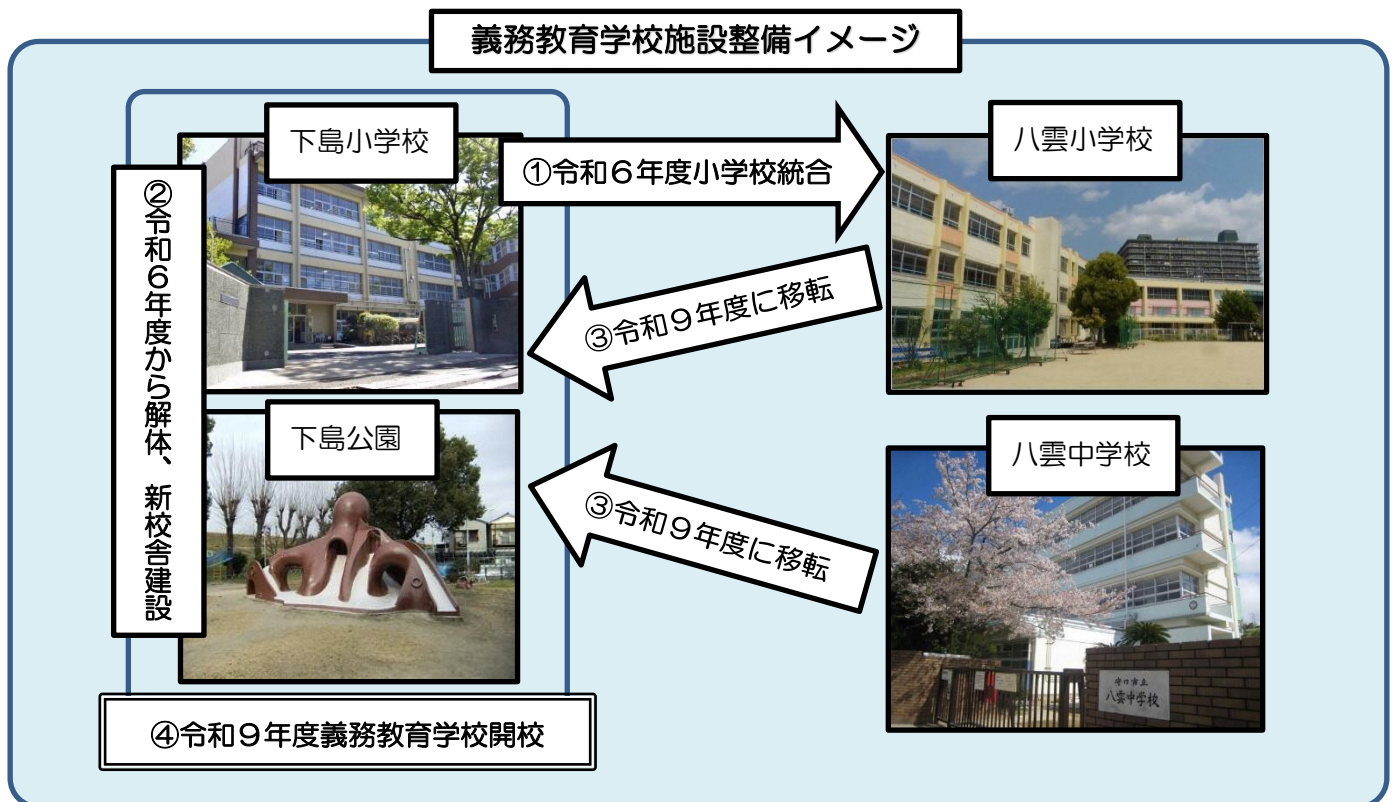
●事業目的・概要

教育委員会では、令和4年8月に策定した「守口市学校規模等適正化基本方針（改訂版）」において、「学校施設の老朽化が進み、早期に対策を要する八雲小学校と下島小学校を統合し、十分な校地を確保したうえで、八雲中学校との統合による義務教育学校の設置」を行う方針を示し、保護者、地域、八雲中学校区学校運営協議会に対して説明を行ったところ、八雲中学校区学校運営協議会から、教育委員会に対して、令和5年1月に義務教育学校設置に関する意見書が提出された。

これらを踏まえ、「義務教育学校設置計画」を策定し、施設一体型の義務教育学校の設置に向け、十分な校地を確保する観点から、最も広い下島小学校を設置場所とし、さらに周辺道路や隣接する下島公園についても関係部局と協議し、学校敷地として取り込んで学習環境を整備する。

今後は、令和6年4月に八雲小学校において、小学校を統合したうえで、前述の敷地で新校舎建設を行い、令和9年度に義務教育学校の開校を目指す。

このことから、令和5年度は下島小学校と八雲小学校の統合に向け、八雲小学校の教室整備や備品の運搬を行うとともに、新校舎の設計等に着手する。



●令和5年度当初予算（案） 218,929 千円

【内訳】

学校建設設計業者プロポーザル審査委員会委員報酬	86千円
備品運搬業務（下島小学校から八雲小学校へ）	5,791千円
八雲小学校空調設備設置等工事実施設計・監理業務・工事請負費	80,597千円
下島小学校等測量業務	18,024千円
新築工事実施設計等業務	114,431千円

市のスポーツと文化、賑わいや交流の創出を目指して

～にぎわい交流施設整備事業～

●事業目的

本市の文化及びスポーツ施設は、守口文化センター（エナジーホール）及び守口市民体育館が、建設から35年以上が経過する中で、施設、設備の老朽化が進行しており、将来のあり方を考えるべき時期を迎えている。

そこで、現在、令和3年度に策定した「守口市にぎわい交流施設最適配置基本構想」に基づき、新体育館の整備及び新ホールの今後の整備にあたっての基本的考え方について「守口市にぎわい交流施設整備基本計画」として取りまとめを行っているところ。

新体育館については、旧寺方小学校の跡地に整備することにより、隣接する市内最大の公園である大枝公園と一体的に、市の「スポーツ・レクリエーションゾーン」として、スポーツ振興と健康増進に向けた、魅力ある空間の創出を図る。

新ホールについては、現市民体育館の敷地を建設予定地としつつ、着工時期までに一定の時間も生じることから、新たな「にぎわい・文化創造ゾーン」の創出に向けた京阪守口市駅南側周辺全体のランドデザインの検討を行う。

●令和5年度事業概要

- ・新体育館の建設に向けた旧寺方小学校解体工事の実施設計等
- ・新体育館整備に向けた要求水準書、民間事業者募集要項の作成等
- ・京阪守口市駅前再整備のあり方基礎検討に向けた現状調査

●令和5年度当初予算（案） 58,365千円

【内訳】

新体育館整備事業アドバイザー業務委託	16,585千円
旧寺方小学校解体工事実施設計業務委託等	32,780千円
京阪守口市駅前南側エリア再整備検討業務委託	9,000千円

守口市にぎわい交流施設整備基本計画（案）

新体育館 - コンセプト -

すべての市民・世代がスポーツやイベントを楽しみ、つながり、活躍できる
生きがい・健康の“アクティブ・ステージ”と安全安心の拠点

<新体育館整備 事業スケジュール(予定)>

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
整備基本 計画策定	旧寺方小学校 解体設計	旧寺方小学校 解体工事			竣 工
	事業者募集 要項、 審査基準等 作成	事業者 募集・選定	設計・建設 (DBO方式により一括発注)		



～守口市駅北側エリアリノベーション推進事業～

【旧徳永家住宅活用】

●事業概要

令和5年3月に策定見込みの「守口市駅北側エリアリノベーション戦略」に基づき、守口市駅北側エリアにおける核として、文禄堤の歴史性を尊重しながら、周辺エリアにも賑わいの波及効果を生み出すための拠点として、「旧徳永家住宅」を整備するため、その活用事業者を公募・選定する。

【活用基本方針】

民間の運営事業者の創意工夫によって恒常的に魅力的な活用が行われるよう、公募型プロポーザルを実施し、市の附属機関である「守口市旧徳永家住宅活用事業者プロポーザル選定委員会」の審査を経て、選定する。

- ・「守口の個性」を象徴する、街のシンボル、自慢できる場など、まちづくりの象徴となるような活用
- ・子育て世代の居場所となる場づくりと、高質な雰囲気のある大人の居場所、庭園を生かす複合的な活用
- ・文禄堤による立体性のある都市空間、立地希少性を活かし、ダブルファサードによる商環境形成を促し、文禄堤の歴史性を継承



【外観（文禄堤側）】



【活用イメージ（主屋、一階土間）】

【全体スケジュール】（予定）

- ・令和5年4月 募集要項等の公表
- ・ 〃 7月～ 優先交渉権者の決定（契約締結に向けた協議開始）
- ・令和7年3月頃～ 施設の供用開始

※建物の耐震補強等の躯体性能に関わる工事は本市が、それ以外の内装等の改修工事は活用事業者が実施

●令和5年度当初予算（案） 6,963千円

【内訳】

守口市旧徳永家住宅活用事業者プロポーザル選定委員会 委員報酬	57千円
エリアリノベーション推進事業支援業務委託	6,906千円
（金額には、都市計画道路「豊秀松月線」整備に係るデザイン監修等業務を含む）	

鶴見緑地公園と連携し、市南部から中部エリアをつなぐ緑地軸を再整備

～世木公園及び西三荘ゆとり道再整備事業～

●事業目的

「国際花と緑の博覧会」会場となった鶴見緑地公園に隣接する世木公園を、2025年の大阪・関西万博に合わせ、魅力とにぎわいのある公園として、また、世木公園と連結する西三荘ゆとり道の再整備にも同時に着手する。

●事業概要

世木公園については、鶴見緑地との機能の役割分担に十分に配慮し、釣り池を埋め立て、遊具やアスレチックを中心とした遊びの場、市民がゆっくりと安らぐことの出来る芝生広場を整備する。

世木公園		西三荘ゆとり道	
公園面積	約 12,442 m ²	整備範囲	南寺方東通4丁目 172-36 地先 ～南寺方東通4丁目 172-16 地先
種別	都市公園（街区公園）	再整備面積	約 1,760 m ²
完成年次	令和6年3月	完成年次	令和6年3月


●令和5年度当初予算（案） 562,500 千円

【内訳】

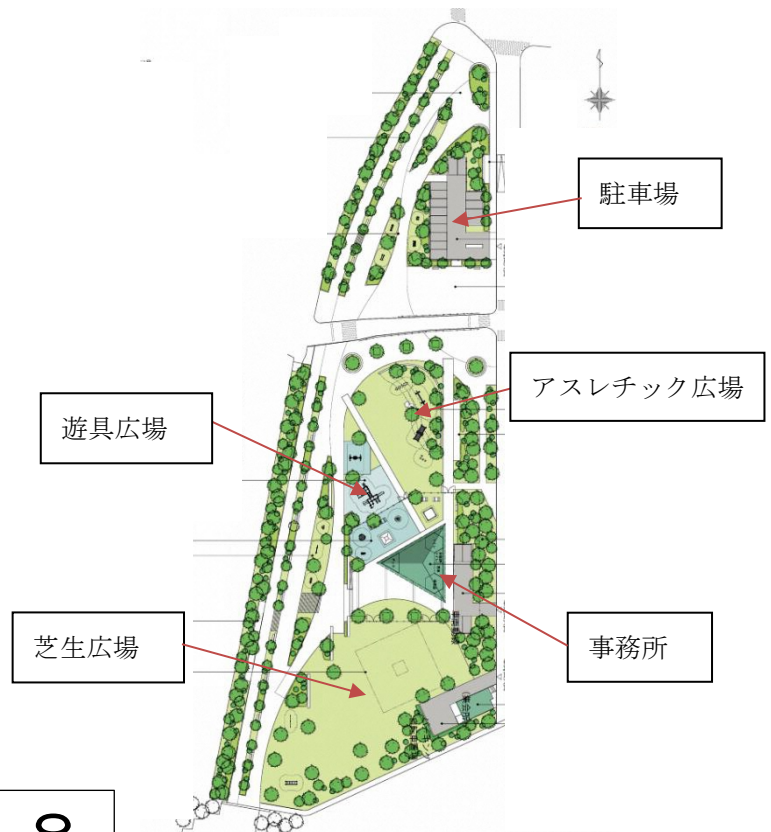
- ・世木公園及び西三荘ゆとり道再整備工事監理業務委託 8,500 千円
- ・世木公園及び西三荘ゆとり道再整備工事 552,000 千円
- ・事務所用備品（机、椅子、ロッカー等） 2,000 千円

【位置図】



 再整備工事エリア

【整備イメージ案】



都市公園のリニューアル

～日吉公園再整備事業～

●事業目的

老朽化が進んでいる日吉公園について、バリアフリー対応を中心としたリニューアルを実施する。

また、整備に合わせ、公園外周部の段差解消を図ることにより、一時避難場所としての機能強化を図る。

●事業概要

公園面積	4796.29 m ²
公園種別	都市公園（街区公園）
完成年月	令和6年3月

- 中央にある老朽化したトイレを撤去し、位置を変え新たに整備する。
- 市民が憩えるパーゴラを整備する。また、災害時にはテントを設置することで救護室としての機能をもたすことができる。
- 基本的には、既存樹木を存置するが、老木等については撤去し、全体的に開放感のある公園として整備する。

●令和5年度当初予算（案） 150,900 千円

【内訳】

- 日吉公園再整備工事 145,000 千円
- 日吉公園再整備工事監理等業務委託 5,900 千円



地域コミュニティの活性化とまちのにぎわい創出

～庭窪コミュニティセンター整備事業～

●事業目的

東部エリアにおいて、幅広い世代の方々がいつでも気軽にかつ快適に利用できる交流の場として、旧にわくぼ幼稚園棟（現庭窪コミュニティセンター体育室含む）を解体した上で、当該跡地に新たに庭窪コミュニティセンターを新設することで、地域コミュニティの更なる活性化とともに地域におけるにぎわいの創出を図る。新センター整備後は、現センターを解体し、駐車場及びエントランスとして再整備する。

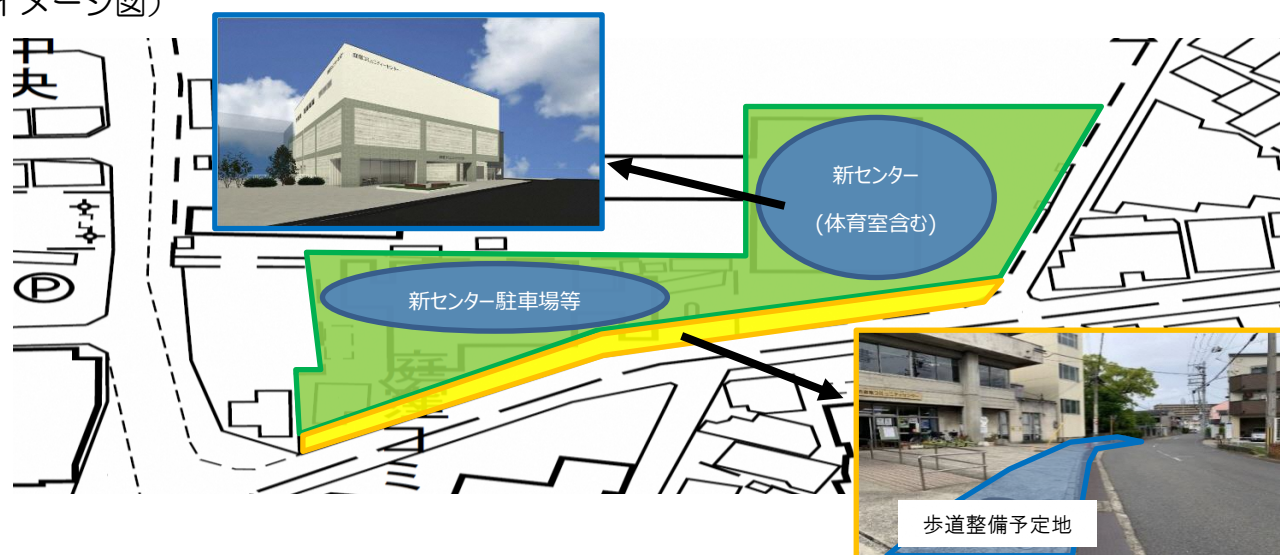
また、庭窪コミュニティセンターの整備に併せ、大阪府と協調し、一般府道北大日竜田線の北側 180m 区間について、交通安全事業として歩道整備を行い、歩行者の安全確保を図る。

●事業概要

新たな庭窪コミュニティセンターの整備に向け、新センターの新築工事实施設計及び現センターの解体工事实施設計を行うとともに、旧にわくぼ幼稚園棟の解体工事を行う。（令和7年度暫定オープン、令和8年度グランドオープン予定）

また、一般府道北大日竜田線の整備については、令和5年度から用地買収に向けた用地測量を行い、令和9年度に整備予定区間の供用開始を目指す。

（イメージ図）



●令和5年度当初予算（案） 256,520 千円

【内訳】

- ・旧にわくぼ幼稚園棟解体工事 177,870 千円
- ・旧にわくぼ幼稚園棟解体工事監理業務委託 8,250 千円
- ・庭窪コミュニティセンター新築工事及び旧庭窪コミュニティセンター解体工事实施設計業務委託 66,200 千円
- ・用地測量業務（府道北大日竜田線交通安全事業に係るもの） 4,200 千円

屋内運動場の施設整備による教育環境及び避難所環境の向上

～学校屋内運動場空調等設置事業～

●事業目的

学校の屋内運動場は、日々の教育施設としての役割はもとより、非常時には避難所としての役割も併せ持つことから、夏期の熱中症対策として、環境改善を図るため、令和4年度に実施した空調設置可能調査の結果を受け、学校の屋内運動場に空調設備を設置するとともに、既存校の屋内運動場照明設備のLED化を実施する。

空調設備については、コロナ禍における換気性能を踏まえ総合的に勘案して大風量スポットエアコンを設置する。照明設備については、従来の水銀灯が現在生産中止となっており、施設維持の観点から交換が必要となるもの。

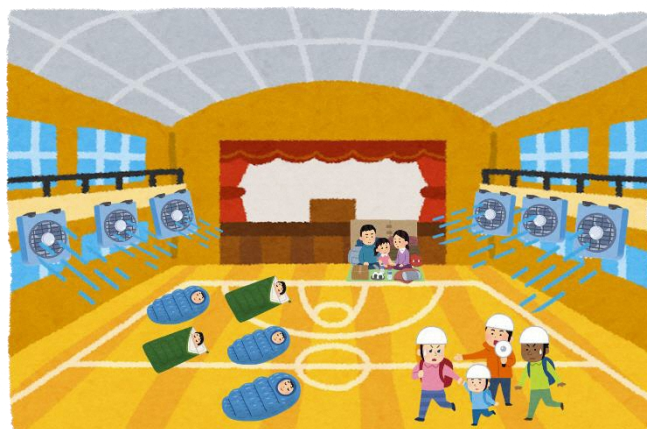
●事業概要

学校の屋内運動場への空調設置とともに既存校のLED化に向け、設計・工事監理について業務を委託し、設置工事を実施する。

【学校の屋内運動場への空調設置のイメージ】



教育環境の向上



災害時における避難所環境の向上



●令和4年度補正予算（案） 916,881 千円

【内訳】

- | | |
|--------------|--------------------|
| ・委託料（小学校費） | 58,014 千円（設計・工事監理） |
| ・委託料（中学校費） | 40,522 千円（設計・工事監理） |
| ・工事請負費（小学校費） | 483,132 千円（工事） |
| ・工事請負費（中学校費） | 335,213 千円（工事） |

小学校跡地での公園整備

～旧さくら小学校跡地公園整備事業～

●事業目的

特色ある公園づくりの一環として、隣接する大宮中央公園と公園機能の分担を行い、小学校跡地ではボール遊びが出来る機能を備えるとともに、防災力の強化が図れるよう整備する。

●事業概要

公園整備に先立ち令和5年度から令和6年度にかけて、小学校跡地の校舎を解体する。

●令和4年度補正予算（案）及び 令和5年度当初予算（案） 376,341 千円

【内訳】

- ・旧さくら小学校校舎等解体工事監理業務委託 6,859 千円
- ・旧さくら小学校校舎等解体工事 369,482 千円

